

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2002-123477

(P2002-123477A)

(43)公開日 平成14年4月26日 (2002.4.26)

(51) Int.Cl. ⁷ G 0 6 F 13/00	識別記号 6 5 0 5 4 0 17/60	F I G 0 6 F 13/00 17/60	テ-マコ-ト [*] (参考) 6 5 0 B 5 B 0 4 9 5 4 0 P 3 2 6
--------------------------------------------	---------------------------------	-------------------------------	-------------------------------------------------------------------

審査請求 有 請求項の数25 O.L (全 20 頁)

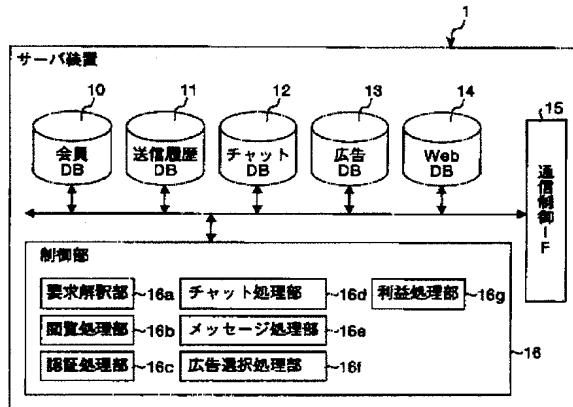
(21)出願番号	特願2000-312597(P2000-312597)	(71)出願人 500053160 株式会社イサオ 東京都港区赤坂一丁目12番32号
(22)出願日	平成12年10月12日 (2000.10.12)	(72)発明者 高倉 鉄夫 東京都港区赤坂一丁目12番32号 株式会社 イサオ内
		(72)発明者 佐藤 正臣 東京都新宿区西新宿二丁目6番1号 株式 会社シーエスケイ内
		(74)代理人 100089118 弁理士 酒井 宏明 (外1名) Fターム(参考) 5B049 BB49 CC31 EE05 FF03

(54)【発明の名称】 コミュニケーションシステム、コミュニケーション情報処理装置、情報端末装置、コミュニケーション情報処理方法、および、記憶媒体

(57)【要約】

【課題】 チャットやメッセージ送信において広告を表示することを可能とし、これまでにない新たな広告スペースを創設することのできる、コミュニケーションシステム等を提供することを課題とする。

【解決手段】 本発明にかかるコミュニケーションシステムは、複数の利用者相互の対話データの処理を行うサーバ装置1と、各利用者のクライアント装置とを接続して構成されたコミュニケーションシステムであって、サーバ装置1は、利用者に広告を行なうための広告データを、対話データと共に、クライアント装置を介して利用者に出力可能とするチャット処理部16dまたはメッセージ処理部16eと、広告データおよび対話データを、クライアント装置に送信する通信制御インターフェース15とを備える。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 複数の利用者相互の対話データの処理を行うコミュニケーション情報処理装置と、各利用者の情報端末装置とを、ネットワークを介して通信可能に接続して構成されたコミュニケーションシステムであって、上記コミュニケーション情報処理装置は、利用者に広告を行なうための広告データを、上記対話データと共に、上記情報端末装置を介して利用者に出力可能とする対話処理手段と、上記広告データおよび上記対話データを、上記情報端末装置に送信する通信手段とを備え、上記情報端末装置は、

上記コミュニケーション情報処理装置から送信された広告データおよび上記対話データを受信する通信手段と、上記通信手段にて受信した対話データおよび広告データを、同時に出力する出力インターフェースとを備えること、

を特徴とするコミュニケーションシステム。

【請求項2】 上記対話データは、複数の情報端末装置から送信された対話内容をこれら各情報端末装置のそれにおいて表示するためのチャット情報、あるいは、情報端末装置から送信された対話内容を他の情報端末装置において表示するためのメッセージ情報、の少なくとも一方であること、

を特徴とする請求項1に記載のコミュニケーションシステム。

【請求項3】 複数の利用者それぞれの情報端末装置に対してネットワークを介して通信可能に接続して構成され、これら利用者相互の対話データの処理を行うコミュニケーション情報処理装置であって、利用者に広告を行なうための広告データを、上記対話データと共に、上記情報端末装置を介して利用者に出力可能とする対話処理手段と、上記広告データおよび上記対話データを、上記情報端末装置に送信する通信手段と、を備えることを特徴とするコミュニケーション情報処理装置。

【請求項4】 上記対話データは、複数の情報端末装置から送信された対話内容をこれら各情報端末装置のそれにおいて表示するためのチャット情報、あるいは、情報端末装置から送信された対話内容を他の情報端末装置において表示するためのメッセージ情報、の少なくとも一方であること、

を特徴とする請求項3に記載のコミュニケーション情報処理装置。

【請求項5】 複数の広告データの中から、利用者に提示する広告データを選択する広告選択処理手段、を備えることを特徴とする請求項3または4に記載のコミュニケーション情報処理装置。

【請求項6】 利用者の情報端末装置に送信されたWe

bページを特定するための情報を格納する送信履歴格納手段を備え、

上記広告選択処理手段は、上記送信履歴格納手段にて格納された情報に基づいて、上記広告データの選択を行なうこと、

を特徴とする請求項5に記載のコミュニケーション情報処理装置。

【請求項7】 上記広告選択処理手段は、上記対話データの内容に基づいて、上記広告データの選択を行なうこと、

を特徴とする請求項5または6に記載のコミュニケーション情報処理装置。

【請求項8】 上記利用者の属性に関する情報を格納する利用者属性格納手段を備え、

上記広告選択処理手段は、上記利用者属性格納手段にて格納された情報に基づいて、上記広告データの選択を行なうこと、

を特徴とする請求項5～7のいずれか一つに記載のコミュニケーション情報処理装置。

【請求項9】 上記対話処理手段は、上記広告データを所定条件下において切り替えることを特徴とする請求項3～8のいずれか一つに記載のコミュニケーション情報処理装置。

【請求項10】 上記対話データがチャット情報である場合において、

上記対話処理手段は、同一のチャットルームに参加している利用者への上記広告データの提示時間が所定時間以上になった場合に、上記広告データの切り替えを行なうこと、

を特徴とする請求項9に記載のコミュニケーション情報処理装置。

【請求項11】 上記対話処理手段は、複数の広告データの中から提示する広告データを選択するための選択情報と上記情報端末装置に送信すると共に、上記情報端末装置を介して選択情報を用いて選択された広告データを、対話データと共に出力可能にすること、

を特徴とする請求項3～10のいずれか一つに記載のコミュニケーション情報処理装置。

【請求項12】 利用者に提供する利益の内容を特定するための利益情報を格納する利益情報格納手段と、利用者に提示された広告データに対して、当該利用者による所定の操作が上記情報端末装置を介して行なわれた場合、この利用者と、この広告データを当該利用者に提示することを選択した利用者と、の少なくとも一方に対して提供する利益の内容を特定して上記利益情報格納手段に格納する利益処理手段と、

を備えることを特徴とする請求項3～11のいずれか一つに記載のコミュニケーション情報処理装置。

【請求項13】 複数の利用者相互の対話データの処理を行うコミュニケーション情報処理装置に対してネット

ワークを介して通信可能に接続して構成された情報端末装置であって、

上記コミュニケーション情報処理装置から送信された広告データおよび上記対話データを受信する通信手段と、上記通信手段にて受信された対話データおよび広告データを、同時に output するための出力インターフェースと、を備えることを特徴とする情報端末装置。

【請求項14】 上記通信手段は、上記コミュニケーション情報処理装置から送信された、複数の広告データの中から提示する広告データを選択するための選択情報を受信し、

上記出力インターフェースは、上記通信手段にて受信された選択情報を出力し、

上記選択情報を用いて、提示する広告データを特定するための入力インターフェースを備え、

上記通信手段は、上記入力インターフェースにて特定された広告データに関する情報を、上記コミュニケーション情報処理装置に送信すること、

を特徴とする請求項13に記載の情報端末装置。

【請求項15】 複数の利用者相互の対話データの処理を行うコミュニケーション情報処理装置と、各利用者の情報端末装置とを、ネットワークを介して通信可能に接続して、コミュニケーション情報の処理を行なうコミュニケーション情報処理方法であって、

上記コミュニケーション情報処理装置において、利用者に広告を行なうための広告データを、上記対話データと共に、上記情報端末装置を介して利用者に output 可能とする対話処理手順と、

上記広告データおよび上記対話データを、上記コミュニケーション情報処理装置から上記情報端末装置に送信する通信手順と、

を備えることを特徴とするコミュニケーション情報処理方法。

【請求項16】 上記対話データは、複数の情報端末装置から送信された対話内容をこれら各情報端末装置のそれにおいて表示するためのチャット情報、あるいは、情報端末装置から送信された対話内容を他の情報端末装置において表示するためのメッセージ情報の少なくとも一方であること、

を特徴とする請求項15に記載のコミュニケーション情報処理方法。

【請求項17】 上記対話処理手順の前に、複数の広告データの中から、利用者に提示する広告データを選択する広告選択処理手順、

を備えることを特徴とする請求項15または16に記載のコミュニケーション情報処理方法。

【請求項18】 利用者の情報端末装置に送信されたWebページを特定するための情報を上記コミュニケーション情報処理装置に格納する送信履歴格納手順を備え、上記広告選択処理手順において、上記送信履歴格納手順

において格納された情報に基づいて、上記広告データの選択を行なうこと、

を特徴とする請求項17に記載のコミュニケーション情報処理方法。

【請求項19】 上記広告選択処理手順において、上記対話データの内容に基づいて、上記広告データの選択を行なうこと、

を特徴とする請求項17または18に記載のコミュニケーション情報処理方法。

【請求項20】 上記利用者の属性に関する情報を上記コミュニケーション情報処理装置に格納する利用者属性格納手順を備え、

上記広告選択処理手順において、上記利用者属性格納手順において格納された情報に基づいて、上記広告データの選択を行なうこと、

を特徴とする請求項17～19のいずれか一つに記載のコミュニケーション情報処理方法。

【請求項21】 上記対話処理手順において、上記広告データを所定条件下において切り替えることを特徴とする請求項15～20のいずれか一つに記載のコミュニケーション情報処理方法。

【請求項22】 上記対話データがチャット情報である場合において、

上記対話処理手順において、同一のチャットルームに参加している利用者への上記広告データの提示時間が所定時間以上になった場合に、上記広告データの切り替えを行なうこと、

を特徴とする請求項21に記載のコミュニケーション情報処理方法。

【請求項23】 上記対話処理手順において、複数の広告データの中から提示する広告データを選択するための選択情報を上記コミュニケーション情報処理装置から上記情報端末装置に送信すると共に、上記情報端末装置を介して選択情報を用いて選択された広告データを、対話データと共に output 可能にすること、

を特徴とする請求項15～22のいずれか一つに記載のコミュニケーション情報処理方法。

【請求項24】 利用者に提供する利益の内容を特定するための利益情報を格納する利益情報格納手順と、

利用者に提示された広告データに対して、当該利用者による所定の操作が上記情報端末装置を介して行なわれた場合、この利用者と、この広告データを当該利用者に提示することを選択した利用者と、の少なくとも一方に対して提供する利益の内容を特定して上記コミュニケーション情報処理装置に格納する利益処理手順と、

を備えることを特徴とする請求項15～23のいずれか一つに記載のコミュニケーション情報処理方法。

【請求項25】 上記請求項15～24のいずれか一つに記載されたコミュニケーション情報処理方法をコンピュータに実行させるためのプログラムを記録したことを

特徴とするコンピュータ読み取り可能な記憶媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、Web上でチャットやメッセージ送信を行なうための、コミュニケーションシステム、コミュニケーション情報処理装置、情報端末装置、コミュニケーション情報処理方法、および、記憶媒体に関する。

【0002】

【従来の技術】近年のインターネット技術の発達に伴い、このインターネット技術を利用して複数の人が相互にコミュニケーションを図るためのコミュニケーションシステムが広く普及してきている。このようなインターネットによる一般的なコミュニケーションシステムとしては、文字データや画像データ等をサーバ装置を介して電子配信する電子メール、仮想的な対話室（チャットルーム）において利用者が相互に対話をを行うことのできるチャット、あるいは、利用者がオンライン中の他の利用者に対して能動的にメッセージを送信することができるメッセージ送信がある。

【0003】この中でも、チャットやメッセージ送信は、クライアント装置を介して入力された文章が、相手方のWebページに即座に反映される点において、リアルタイム性に優れており、仮想的な対話として優れたものである。このような利点を有するため、チャットやメッセージ送信の利用者は急速に増えてきており、また、チャット環境やメッセージ送信環境を提供するWebサイトの数も、日増しに増加している。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、このような従来のチャットシステムやメッセージ送信システムは、上記のように対話環境としては優れているものの、依然として単なる対話環境の域を出ていなかった。すなわち、チャットやメッセージ送信は多くの人に利用されており、この利用者の当該画面に対する注視度が極めて高いという特性があるにも関わらず、この特性を対話以外の目的に利用する試みは一切行なわれていなかった。

【0005】ここで、今日のWebサイトにおける収益源としては、広告宣伝の役割が大きく、広告宣伝を行なうことのできるスペースを確保することが重要視されている。このため、今日では、バナーと呼ばれる帶状の広告が各種のWebページに多数表示されている。しかしながら、このような広告を掲載することができるWebページ上のスペースは徐々に限られてきており、Webページ以外のスペースであって、かつ、広告宣伝効果の高いスペースが渴望されていた。

【0006】本発明は上記問題に鑑みてなされたもので、チャットやメッセージ送信において広告を表示することを可能とし、これまでにない新たな広告スペースを創設することのできる、コミュニケーションシステム、

コミュニケーション情報処理装置、情報端末装置、コミュニケーション情報処理方法、および、記憶媒体を提供することを目的としている。

【0007】

【課題を解決するための手段】このような目的を達成するため、請求項1に記載のコミュニケーションシステムは、複数の利用者相互の対話データの処理を行うコミュニケーション情報処理装置と、各利用者の情報端末装置とを、ネットワークを介して通信可能に接続して構成されたコミュニケーションシステムであって、上記コミュニケーション情報処理装置は、利用者に広告を行なうための広告データを、上記対話データと共に、上記情報端末装置を介して利用者に出力可能とする対話処理手段と、上記広告データおよび上記対話データを、上記情報端末装置に送信する通信手段とを備え、上記情報端末装置は、上記コミュニケーション情報処理装置から送信された広告データおよび上記対話データを受信する通信手段と、上記通信手段にて受信した対話データおよび広告データを、同時に出力する出力インターフェースとを備えることを特徴とする。

【0008】このようなシステムによれば、利用者に広告を行なうための広告データが、対話データと共に利用者に出力可能とされ、これら広告データおよび対話データが情報端末装置に送信される。そして、情報端末装置においては、対話データおよび広告データが同時に出力され、利用者に対する広告を行なうことができる。このことにより、対話環境というこれまで広告スペースとして着目されていなかった領域に、新たな広告スペースを創設することができる。この場合、利用者による注視度が極めて高い対話データと共に広告データが表示されるので、広告宣伝効果が極めて大きい。

【0009】また、請求項2に記載のコミュニケーションシステムは、請求項1に記載のコミュニケーションシステムにおいて、上記対話データは、複数の情報端末装置から送信された対話内容をこれら各情報端末装置のそれれにおいて表示するためのチャット情報、あるいは、情報端末装置から送信された対話内容を他の情報端末装置において表示するためのメッセージ情報、の少なくとも一方であることを特徴とする。

【0010】これは、対話データの内容を一層具体的に示すものであり、このシステムによれば、チャットを行なうためのチャット情報やメッセージ送信を行なうためのメッセージ情報と共に、広告が表示される。したがって、チャットの場合には、チャット相手の発言を待つ間に広告を見てしまうことや、チャットの中で広告について話題にしてもらうことによって、大きな広告宣伝効果を期待することができる。また、メッセージ送信の場合には、メッセージと共に広告を能動的に送信してもらうことができ、大きな広告宣伝効果を期待することができる。

【0011】また、本発明は、コミュニケーション情報処理装置に関するものであり、請求項3に記載のコミュニケーション情報処理装置は、複数の利用者それぞれの情報端末装置に対してネットワークを介して通信可能に接続して構成され、これら利用者相互の対話データの処理を行うコミュニケーション情報処理装置であって、利用者に広告を行なうための広告データを、上記対話データと共に、上記情報端末装置を介して利用者に出力可能とする対話処理手段と、上記広告データおよび上記対話データを、上記情報端末装置に送信する通信手段とを備えることを特徴とする。

【0012】この装置によれば、利用者に広告を行なうための広告データが、対話データと共に利用者に出力可能とされ、これら広告データおよび対話データが情報端末装置に送信される。したがって、情報端末装置においては、広告データが、対話データと共に利用者に出力され、利用者に対する広告を行なうことができる。このことにより、対話環境というこれまで広告スペースとして着目されていなかった領域に、新たな広告スペースを創設することができる。この場合、利用者による注視度が極めて高い対話データと共に広告データが表示されるので、広告宣伝効果が極めて大きい。

【0013】また、請求項4に記載のコミュニケーション情報処理装置は、請求項3に記載のコミュニケーション情報処理装置において、上記対話データは、複数の情報端末装置から送信された対話内容をこれら各情報端末装置のそれぞれにおいて表示するためのチャット情報、あるいは、情報端末装置から送信された対話内容を他の情報端末装置において表示するためのメッセージ情報、の少なくとも一方であることを特徴とする。

【0014】これは、対話データの内容を一層具体的に示すものであり、この装置によれば、チャットを行なうためのチャット情報やメッセージ送信を行なうためのメッセージ情報と共に広告が表示される。したがって、チャットの場合には、チャット相手の発言を待つ間に広告を見てしまうことや、チャットの中で広告について話題にしてもらうことによって、大きな広告宣伝効果を期待することができる。また、メッセージ送信の場合には、メッセージと共に広告を能動的に送信してもらうことができ、大きな広告宣伝効果を期待することができる。

【0015】また、請求項5に記載のコミュニケーション情報処理装置は、請求項3または4に記載のコミュニケーション情報処理装置において、複数の広告データの中から、利用者に提示する広告データを選択する広告選択処理手段を備えることを特徴とする。

【0016】この装置によれば、複数の広告データの中から、利用者に提示する広告データが選択され、利用者に提示される。したがって、この選択を適切に行なうことにより、利用者に適した広告を自動的に選択して提示することができる。

【0017】また、請求項6に記載のコミュニケーション情報処理装置は、請求項5に記載のコミュニケーション情報処理装置において、利用者の情報端末装置に送信されたWebページを特定するための情報を格納する送信履歴格納手段を備え、上記広告選択処理手段は、上記送信履歴格納手段にて格納された情報に基づいて、上記広告データの選択を行なうことを特徴とする。

【0018】これは広告選択基準の一形態を一層具体的に示すものである。この装置によれば、利用者へのWebページの送信履歴が自動的に蓄積され、この送信履歴に基づいて広告が選択されるので、利用者が閲覧しているメーカー・や商品等に関する広告や、逆にこれらのメーカー・や商品等とは全く異なるメーカー・や商品等に関する広告を提示する等、閲覧内容に基づいた広告を提示することができ、広告宣伝効果を一層向上させることができる。

【0019】また、請求項7に記載のコミュニケーション情報処理装置は、請求項5または6に記載のコミュニケーション情報処理装置において、上記広告選択処理手段は、上記対話データの内容に基づいて、上記広告データの選択を行なうことを特徴とする。

【0020】これは広告選択基準の他の形態を一層具体的に示すものである。この装置によれば、対話データの内容に基づいて広告データが選択されるので、利用者が対話しているメーカー・や商品等に関する広告や、逆にこれらのメーカー・や商品等とは全く異なるメーカー・や商品等に関する広告を提示する等、対話内容に基づいた広告を提示することができ、広告宣伝効果を一層向上させることができる。

【0021】また、請求項8に記載のコミュニケーション情報処理装置は、請求項5～7のいずれか一つに記載のコミュニケーション情報処理装置において、上記利用者の属性に関する情報を格納する利用者属性格納手段を備え、上記広告選択処理手段は、上記利用者属性格納手段にて格納された情報に基づいて、上記広告データの選択を行なうことを特徴とする。

【0022】これは広告選択基準の他の形態を一層具体的に示すものである。この装置によれば、利用者の属性に関する情報を格納され、この情報に基づいて広告が選択されるので、利用者の性別や趣味等に対応するメーカー・や商品等に関する広告や、逆にこれらのメーカー・や商品等とは全く異なるメーカー・や商品等に関する広告を提示する等、利用者の属性に基づいた広告を提示することができ、広告宣伝効果を一層向上させることができる。

【0023】また、請求項9に記載のコミュニケーション情報処理装置は、請求項3～8のいずれか一つに記載のコミュニケーション情報処理装置において、上記対話処理手段は、上記広告データを所定条件下において切り替えることを特徴とする。

【0024】この装置によれば、広告データが自動的に

切り替えられるので、利用者に対して異なる広告を自動的に提示することができ、広告効率を向上させることができる。

【0025】また、請求項10に記載のコミュニケーション情報処理装置は、請求項9に記載のコミュニケーション情報処理装置において、上記対話データがチャット情報である場合において、上記対話処理手段は、同一のチャットルームに参加している利用者への上記広告データの提示時間が所定時間以上になった場合に、上記広告データの切り替えを行なうことを特徴とする。

【0026】これは広告の切り替え基準の一形態を一層具体的に示したものである。この装置によれば、チャットルームに参加している利用者への広告データの提示時間が所定時間以上になった場合に、広告データの切り替えが行なわれる所以、各広告を充分に利用者に見せた状態で次の広告を提示することができ、広告更新を効率よく行なうことができる。

【0027】また、請求項11に記載のコミュニケーション情報処理装置は、請求項3～10のいずれか一つに記載のコミュニケーション情報処理装置において、上記対話処理手段は、複数の広告データの中から提示する広告データを選択するための選択情報を上記情報端末装置に送信すると共に、上記情報端末装置を介して選択情報を用いて選択された広告データを、対話データと共に出力可能にすることを特徴とする。

【0028】この装置によれば、複数の広告データの中から提示する広告データを選択するための選択情報が情報端末装置に送信され、情報端末装置を介して選択情報を用いて選択された広告データが対話データと共に出力可能にされる。すなわち、利用者は、選択情報を用いて広告データを選択することができ、このように選択された広告データが利用者に提示される。したがって、チャットやメッセージ送信において、利用者は対話相手に合致した広告を任意に選択すること等ができる、広告宣伝効果を一層向上させることができる。

【0029】また、請求項12に記載のコミュニケーション情報処理装置は、請求項3～11のいずれか一つに記載のコミュニケーション情報処理装置において、利用者に提供する利益の内容を特定するための利益情報を格納する利益情報格納手段と、利用者に提示された広告データに対して、当該利用者による所定の操作が上記情報端末装置を介して行なわれた場合、この利用者と、この広告データを当該利用者に提示することを選択した利用者と、の少なくとも一方に対して提供する利益の内容を特定して上記利益情報格納手段に格納する利益処理手段とを備えることを特徴とする。

【0030】この装置によれば、広告データに対する所定の操作が行なわれた場合、この操作を行なった利用者と、この広告データを当該利用者に提示することを選択した利用者と、の少なくとも一方に対して提供する利益

の内容が格納される。すなわち、例えば、広告データを選択してその詳細な内容を閲覧等した場合には、これら利用者の少なくとも一方に対して、所定の利益が与えられる。したがって、広告を見る利用者や、この広告を送信する利用者に、広告効率を向上させることについてのインセンティブを付与することができ、広告宣伝効果を一層向上させることができる。

【0031】また、本発明は、情報端末装置に関するものであり、請求項13に記載の情報端末装置は、複数の利用者相互の対話データの処理を行うコミュニケーション情報処理装置に対してネットワークを介して通信可能に接続して構成された情報端末装置であって、上記コミュニケーション情報処理装置から送信された広告データおよび上記対話データを受信する通信手段と、上記コミュニケーション情報処理装置から送信された対話データおよび広告データを、同時に出力するための出力インターフェースとを備えることを特徴とする。

【0032】この装置によれば、コミュニケーション情報処理装置から送信された対話データおよび広告データを、出力インターフェースを介して同時に出力することができる。したがって、広告データが、対話データと共に利用者に出力され、利用者に対する広告を行なうことができる。このような対話データは、利用者による注視度が極めて高いことから、広告宣伝効果が極めて大きい。

【0033】また、請求項14に記載の情報端末装置は、請求項13に記載の情報端末装置において、上記通信手段は、上記コミュニケーション情報処理装置から送信された、複数の広告データの中から提示する広告データを選択するための選択情報を受信し、上記出力インターフェースは、上記通信手段にて受信された選択情報を出力し、上記選択情報を用いて、提示する広告データを特定するための入力インターフェースを備え、上記通信手段は、上記入力インターフェースにて特定された広告データに関する情報を、上記コミュニケーション情報処理装置に送信することを特徴とする。

【0034】この装置によれば、出力インターフェースを介して選択情報が出力され、入力インターフェースを介して、選択情報を用いた広告データの特定が行なわれる。したがって、利用者は、広告データを容易に選択することができる。

【0035】また、本発明は、コミュニケーション情報処理方法に関するものであり、請求項15に記載のコミュニケーション情報処理方法は、複数の利用者相互の対話データの処理を行うコミュニケーション情報処理装置と、各利用者の情報端末装置とを、ネットワークを介して通信可能に接続して、コミュニケーション情報の処理を行なうコミュニケーション情報処理方法であって、上記コミュニケーション情報処理装置において、利用者に広告を行なうための広告データを、上記対話データと共に

に、上記情報端末装置を介して利用者に出力可能とする対話処理手順と、上記広告データおよび上記対話データを、上記コミュニケーション情報処理装置から上記情報端末装置に送信する通信手順とを備えることを特徴とする。

【0036】この方法によれば、利用者に広告を行なうための広告データが、対話データと共に利用者に出力可能とされ、これら広告データおよび対話データが情報端末装置に送信される。したがって、情報端末装置においては、広告データが、対話データと共に利用者に出力され、利用者に対する広告を行なうことができる。このことにより、対話環境というこれまで広告スペースとして着目されていなかった領域に、新たな広告スペースを創設することができる。この場合、利用者による注視度が極めて高い対話データと共に広告データが表示されるので、広告宣伝効果が極めて大きい。

【0037】また、請求項16に記載のコミュニケーション情報処理方法は、請求項15に記載のコミュニケーション情報処理方法において、上記対話データは、複数の情報端末装置から送信された対話内容をこれら各情報端末装置のそれぞれにおいて表示するためのチャット情報、あるいは、情報端末装置から送信された対話内容を他の情報端末装置において表示するためのメッセージ情報、の少なくとも一方であることを特徴とする。

【0038】これは、対話データの内容を一層具体的に示すものであり、この方法によれば、チャットを行なうためのチャット情報やメッセージ送信を行なうためのメッセージ情報と共に広告が表示される。したがって、チャットの場合には、チャット相手の発言を待つ間に広告を見てもらうことや、チャットの中で広告について話題にしてもらうことによって、大きな広告宣伝効果を期待することができる。また、メッセージ送信の場合には、メッセージと共に広告を能動的に送信してもらうことができ、大きな広告宣伝効果を期待することができる。

【0039】また、請求項17に記載のコミュニケーション情報処理方法は、請求項15または16に記載のコミュニケーション情報処理方法において、上記対話処理手順の前に、複数の広告データの中から、利用者に提示する広告データを選択する広告選択処理手順を備えることを特徴とする。

【0040】この方法によれば、複数の広告データの中から、利用者に提示する広告データが選択され、利用者に提示される。したがって、この選択を適切に行なうことにより、利用者に適した広告を自動的に選択して提示することができる。

【0041】また、請求項18に記載のコミュニケーション情報処理方法は、請求項17に記載のコミュニケーション情報処理方法において、利用者の情報端末装置に送信されたWebページを特定するための情報を上記コミュニケーション情報処理装置に格納する送信履歴格納

手順を備え、上記広告選択処理手順において、上記送信履歴格納手順において格納された情報に基づいて、上記広告データの選択を行なうことを特徴とする。

【0042】これは広告選択基準の一形態を一層具体的に示すものである。この方法によれば、利用者へのWebページの送信履歴が自動的に蓄積され、この送信履歴に基づいて広告が選択されるので、利用者が閲覧しているメーカーや商品等に関する広告や、逆にこれらのメーカーや商品等とは全く異なるメーカーや商品等に関する広告を提示する等、閲覧内容に基づいた広告を提示することができ、広告宣伝効果を一層向上させることができる。

【0043】また、請求項19に記載のコミュニケーション情報処理方法は、請求項17または18に記載のコミュニケーション情報処理方法において、上記対話処理手順において、上記対話データの内容に基づいて、上記広告データの選択を行なうことを特徴とする。

【0044】これは広告選択基準の他の形態を一層具体的に示すものである。この方法によれば、対話データの内容に基づいて広告データが選択されるので、利用者が対話しているメーカーや商品等に関する広告や、逆にこれらのメーカーや商品等とは全く異なるメーカーや商品等に関する広告を提示する等、対話内容に基づいた広告を提示することができ、広告宣伝効果を一層向上させることができる。

【0045】また、請求項20に記載のコミュニケーション情報処理方法は、請求項17～19のいずれか一つに記載のコミュニケーション情報処理方法において、上記利用者の属性に関する情報を上記コミュニケーション情報処理装置に格納する利用者属性格納手順を備え、上記広告選択処理手順において、上記利用者属性格納手順において格納された情報に基づいて、上記広告データの選択を行なうことを特徴とする。

【0046】これは広告選択基準の他の形態を一層具体的に示すものである。この方法によれば、利用者の属性に関する情報が格納され、この情報に基づいて広告が選択されるので、利用者の性別や趣味等に対応するメーカーや商品等に関する広告や、逆にこれらのメーカーや商品等とは全く異なるメーカーや商品等に関する広告を提示する等、利用者の属性に基づいた広告を提示することができ、広告宣伝効果を一層向上させることができる。

【0047】また、請求項21に記載のコミュニケーション情報処理方法は、請求項15～20のいずれか一つに記載のコミュニケーション情報処理方法において、上記広告選択処理手順において、上記広告データを所定条件下において切り替えることを特徴とする。

【0048】この方法によれば、広告データが自動的に切り替えられるので、利用者に対して異なる広告を自動的に提示することができ、広告効率を向上させることができる。

【0049】また、請求項22に記載のコミュニケーション情報処理方法は、請求項21に記載のコミュニケーション情報処理方法において、上記対話データがチャット情報である場合において、上記対話処理手順において、同一のチャットルームに参加している利用者への上記広告データの提示時間が所定時間以上になった場合に、上記広告データの切り替えを行なうことを特徴とする。

【0050】これは広告の切り替え基準の一形態を一層具体的に示したものである。この方法によれば、チャットルームに参加している利用者への広告データの提示時間が所定時間以上になった場合に、広告データの切り替えが行なわれる所以、各広告を充分に利用者に見せた状態で次の広告を提示することができ、広告更新を効率よく行なうことができる。

【0051】また、請求項23に記載のコミュニケーション情報処理方法は、請求項15～22のいずれか一つに記載のコミュニケーション情報処理方法において、上記対話処理手順において、複数の広告データの中から提示する広告データを選択するための選択情報を上記コミュニケーション情報処理装置から上記情報端末装置に送信すると共に、上記情報端末装置を介して選択情報を用いて選択された広告データを、対話データと共に出力可能にすることを特徴とする。

【0052】この方法によれば、複数の広告データの中から提示する広告データを選択するための選択情報が情報端末装置に送信され、情報端末装置を介して選択情報を用いて選択された広告データが対話データと共に出力可能にされる。すなわち、利用者は、選択情報を用いて広告データを選択することができ、このように選択された広告データが利用者に提示される。したがって、チャットやメッセージ送信において、利用者は対話相手に合致した広告を任意に選択すること等ができる、広告宣伝効果を一層向上させることができる。

【0053】また、請求項24に記載のコミュニケーション情報処理方法は、請求項15～23のいずれか一つに記載のコミュニケーション情報処理方法において、利用者に提供する利益の内容を特定するための利益情報を格納する利益情報格納手順と、利用者に提示された広告データが上記情報端末装置を介して選択された場合、この利用者と、この広告データを当該利用者に提示することを選択した利用者との少なくとも一方に対して提供する利益の内容を特定して上記コミュニケーション情報処理装置に格納する利益処理手順とを備えることを特徴とする。

【0054】この方法によれば、広告データに対する所定の操作が行なわれた場合、この操作を行なった利用者と、この広告データを当該利用者に提示することを選択した利用者との少なくとも一方に対して提供する利益の内容が格納される。すなわち、例えば、広告データを

選択してその詳細な内容を閲覧等した場合には、これら利用者の少なくとも一方に対して、所定の利益が与えられる。したがって、広告を見る利用者や、この広告を送信する利用者に、広告効果を向上させることについてのインセンティブを付与することができ、広告宣伝効果を一層向上させることができる。

【0055】また、本発明は記憶媒体に関するものであり、請求項25に記載の記憶媒体は、上記請求項15～24のいずれか一つに記載されたコミュニケーション情報処理方法をコンピュータに実行させるためのプログラムを記録したことを特徴とする。

【0056】この記憶媒体によれば、当該記憶媒体に記録されたプログラムをコンピュータに読み取らせて実行することによって、請求項15～24のいずれか一つに記載されたコミュニケーション情報処理方法をコンピュータを利用して実現することができ、これら各方法と同様の効果を得ることができる。

【0057】

【発明の実施の形態】以下に、本発明にかかるコミュニケーションシステム、コミュニケーション情報処理装置、情報端末装置、コミュニケーション情報処理方法、および、記憶媒体の実施の形態を図面に基づいて詳細に説明する。なお、この実施の形態によりこの発明が限定されるものではない。

【0058】(全体の概要)図1は本システムの全体構成を示すブロック図である。本システムは、図1に示すように、コミュニケーション情報処理装置であるサーバ装置1と、利用者の情報端末装置である複数のクライアント装置2とを、インターネット3を介して通信可能に接続して構成されている。以下、本システムの概要について説明し、その後、本システムの構成および処理等の詳細について説明する。

【0059】ここで、サーバ装置1は、ISP(Internet Service Provider)の保有するISPサーバとして構成されている。そして、本システムに会員として登録されている利用者は、クライアント装置2を介してサーバ装置1にログオンし、このサーバ装置1を介して図示しない任意のWebサーバにアクセスすることができる。そして、Webサーバに格納されている任意のWebページのデータ(Webデータ)をサーバ装置1を介してダウンロードし、Webページを閲覧することができる。

【0060】このシステムにおいて、サーバ装置1には複数のチャットルームを構成する複数のWebデータが格納されている。そして、本システムの会員として登録されている利用者は、クライアント装置2を介してサーバ装置1にアクセスし、チャットに参加することができ、また、メッセージ送信を行なうことができる。このうち、本実施の形態で行なわれるチャットは、利用者が閲覧しているWebページ毎に開設される。すなわち、

利用者は、Webページを閲覧している状態において、チャットへの参加を要求すると、同じWebページを閲覧している他の利用者が参加しているチャットルームに参加することができる。

【0061】また、本実施の形態で行なわれるメッセージ送信は、ログインしている利用者同士が能動的に行なうことができる。すなわち、利用者は、本システムにログインしている他の利用者を指定して、任意のメッセージを送信することができ、このメッセージは、当該他の利用者のクライアント装置2に自動的に表示される。ただし、このようなチャットやメッセージ送信自体は既に公知であり、従来と同様に行なうことができる。

【0062】ここで、このシステムが従来のシステムと区別される基本的な特徴は、チャットやメッセージ送信の画面に、広告を表示することにある。まず、チャットにおいては、チャットルームに広告が自動的に表示される。したがって、同一のチャットルームに参加している複数の利用者は、共通の広告を見ながら、チャットを行なうことになる。このチャットにおける広告内容の決定方法としては、各種の方法を考えることができるが、本実施の形態においては上述のようにWebページ毎にチャットルームが開設されるので、この広告も、Webページに関連したものが自動的に選択される。

【0063】また、メッセージ送信においては、メッセージが利用者に送信された際に、このメッセージと共に、広告が自動的に表示される。したがって、この広告は、メッセージを送信した利用者でなく、送信された利用者のみが見ることになる。このメッセージ送信における広告内容の決定方法としても各種の方法を考えることができるが、本実施の形態においてはメッセージを送信する利用者が、送信される利用者に合った任意の広告を選択する。このため、メッセージを送信する利用者は、広告を選択するための選択情報が送信され、利用者は、この選択情報を参照して、広告を選択することができる。

【0064】(システム構成—サーバ装置1) 次に、このようなコミュニケーション環境を構築するための本システムの構成について説明する。まず、サーバ装置1の構成について説明する。図2は、このサーバ装置1の構成を示すブロック図である。この図2に示すように、サーバ装置1は、概略的に、会員DB(DB=データベース)10、送信履歴DB11、チャットDB12、広告DB13、WebDB14、通信制御IF(IF=インターフェース)15、および、制御部16を備えて構成されており、これら各部は任意の通信路を介して通信可能に接続されている。さらに、このサーバ装置1は、ルータ等の図示しない通信装置および専用線を介して、インターネット3に通信可能に接続されている。なお、各DBへのアクセスは実際にはDBMS(Database Management System)を介して行なわれるが、このDBMSにつ

いては省略する。

【0065】これらサーバ装置1の各構成要素のうち、会員DB10は、本システムの会員として登録された利用者に関する情報を格納するための利用者情報格納手段であると共に、各利用者に提供する利益の内容を特定するための利益情報を格納する利益情報格納手段である。この会員DB10に格納される具体的な情報は、例えば、図4に示すように、各利用者を一意に識別するための利用者ID、各利用者の認証を行うためのパスワード、各利用者の氏名、および、各利用者にて友達として登録された他の利用者の利用者ID、各利用者のログイン状態を示すステータス情報(ここでは、ログイン時のフラグを「1」、ログアウト時のフラグを「0」とする)、および、各利用者に提供される利益を特定するための利益情報を相互に関連付けて構成されている。

【0066】ここで、利益情報とは、広告データの所定の送信や受信を行なった利用者に対して、本システムから付与する利益の内容や量を特定するための情報である。この利益とは、現金、商品券、景品、任意の商品やサービスの購入等に使用することのできるポイント、各種料金の割引等、利用者にとって利益になり得る全てのものを含み得るが、本実施の形態においては、インターネット3上の所定の電子商取引サイトで使用することのできるバーチャルマネー(以下、VM)であり、利益情報は、このVMの累積ポイントであるものとする。なお、この利益の出資者(原資を提供する人や企業)は任意であり、例えば、広告主が提供してもよく、本システムの開設者が本システムの利用促進等のために提供してもよい。

【0067】また、送信履歴DB11は、利用者のクライアント装置2に送信されたWebページを特定するための情報を格納する送信履歴格納手段である。この送信履歴DB11に格納される具体的な情報は、例えば、図5に示すように、各利用者の利用者ID、および、各利用者にサーバ装置1から最後に送信したWebページのURLを相互に関連付けて構成されている。なお、Webページを特定するための情報としては、IPアドレス等、任意の情報を用いることができる。また、必ずしもWebページをその階層まで含めて詳細に特定する必要はなく、例えばホームページレベルの上位階層を特定するための情報を格納してもよい。

【0068】また、チャットDB12は、その時点において開設されているチャットルームに関する情報を格納するためのチャット情報格納手段である。このチャットDB12に格納される具体的な情報は、例えば、図6に示すように、各チャットルームを一意に識別するためのチャットルームID、各チャットルームに対応するWebページのURL、各チャットルームに参加している利用者の利用者ID、各チャットルームの出力情報を構成するチャットデータ(または、チャットデータを特定す

るためのアドレス情報やファイル名等。図6において内容を省略する)、各チャットルームにおいて表示される広告の広告ID(後述する)、および、各チャットルームに最後に参加した利用者の参加時間を示すタイムスタンプを相互に関連付けて構成されている。

【0069】また、広告DB13は、チャットまたはメッセージ送信において表示するための広告データ等を格納するための広告データ格納手段である。この広告DB13に格納される具体的な情報は、例えば、図7に示すように、各広告データを一意に識別するための広告ID、複数の広告データの中から提示する広告データを選択するための選択情報、および、広告データ(または、広告データを特定するためのアドレス情報やファイル名等)を相互に関連付けて構成されている。

【0070】ここで、選択情報としては、各利用者が広告を選択する際に参考になり得る任意の情報を用いることができるが、ここでは、各広告データの内容を要約的に現わすテキストデータが格納されている。この他、選択情報としては、広告データが画像データである場合にはその縮小画像データ(サムネイル)を用いたり、あるいは、単に広告主の名称を示すテキストデータや、広告対象である商品等の名称を示すテキストデータを用いることができる。あるいは、テキスト広告データの内容を必要に応じて動的に要約することもでき、この場合には選択情報を格納しておく必要はない。また、広告データは、テキストデータの他、静止画像データ、動画像データ、音声データを適宜組み合わせて構成することができる。

【0071】また、WebDB14には、クライアント装置2に対して送信するための各種のWebデータが記憶されている。このWebデータとしては、後述するメッセージ作成画面を表示するためのデータ等があり、これらデータは、例えば、HTMLやXMLにて記述されたテキスト・ファイルとして形成されている。この他、WebDB14には、必要に応じて、クライアント装置2に送信するための音声をWAVE形式やAIFF形式の如き音声ファイルで格納したり、静止画や動画をJPEG形式やMPEG2形式の如き画像ファイルで格納することができる。また、図1において、通信制御IF15は、サーバ装置1とインターネット3(またはルータ等の通信装置)との間における通信制御を行うものであり、広告データおよび対話データを(チャットデータ、あるいは、メッセージデータ)をクライアント装置2に送信する通信手段である。

【0072】また、図1において、制御部16は、機能概念的に、要求解釈部16a、閲覧処理部16b、認証処理部16c、チャット処理部16d、メッセージ処理部16e、広告選択処理部16f、および、利益処理部16gを備えて構成されている。

【0073】このうち、要求解釈部16aは、クライア

ント装置2からの要求内容を解釈し、その解釈結果に応じて制御部16の他の各部に処理を受け渡す要求解釈手段である。また、閲覧処理部16bは、クライアント装置2からの各種画面の閲覧要求を受けて、これら画面のWebデータの生成や送信を行なう閲覧処理手段である。また、認証処理部16cは、クライアント装置2からの認証要求を受けて、この認証判断を行なう認証処理手段である。

【0074】また、チャット処理部16dは、チャットページのWebデータの生成や、チャットに参加している利用者の管理等、チャットの運用に関する処理を行なうためのチャット処理手段であり、利用者に広告を行なうための広告データを、複数のクライアント装置2から送信された対話内容をこれら各クライアント装置2において表示するための対話データ(チャットデータ)と共に、クライアント装置2を介して利用者に出力可能とする対話処理手段である。また、チャット処理部16dは、広告データを所定条件下において自動的に切り替える。

【0075】また、メッセージ処理部16eは、メッセージ送信用の各種の画面生成やその送信制御を行なうためのメッセージ送信手段であり、利用者に広告を行なうための広告データを、クライアント装置2から送信された対話内容を他のクライアント装置2において表示するための対話データ(メッセージ情報)と共に、クライアント装置2を介して利用者に出力可能とする対話処理手段である。

【0076】ここで、広告データを対話データと共に出力可能とする具体的な内容については、種々の形態が考えられるが、本実施の形態においては、後述するように、対話データを含んだチャットデータやメッセージ送信画面のWebデータに対して、広告データを付加することが考えられる。この他、チャットデータやメッセージ送信画面のWebデータに対して、広告データを同時に出力するためのタグ情報のみを含めておき、広告データのみは別途に送信することも考えられる。その他、広告データの送信タイミングや送信形態は任意であり、例えば、本システムに対してクライアント装置2がログインしている状態において、通信データがない空き時間を検出し、この時間を利用した一または複数の広告データを予め送信して、クライアント装置2に蓄積しておいてよい。

【0077】また、広告選択処理部16fは、複数の広告データの中から、利用者に提示する広告データを選択する広告選択処理手段である。そして、利益処理部16gは、利用者に提示された広告データに対して、当該利用者による所定の操作がクライアント装置2を介して行なわれた場合、この利用者と、この広告データを当該利用者に提示することを選択した利用者との少なくとも一方に対して提供する利益の内容を特定して会員DB1

0に格納する利益処理手段である。ここで、所定の操作とは、この広告データ（後述する広告表示領域MD-4）を選択することにより、この広告データにハイパーインクされた他のデータを閲覧することである。なお、これら各部によって行なわれる処理の詳細については、後述する。

【0078】さて、これまでにサーバ装置1の構成について説明したが、図示の各構成要素は機能概念的なものであり、必ずしも物理的に図示の如く構成されていることを要しない。例えば、サーバ装置1の各サーバが備える処理機能、特に制御部16にて行なわれる各処理機能については、その全部または任意の一部を、CPU(Central Processing Unit)および当該CPUにて解釈実行されるプログラムにて実現することができ、あるいは、ワイヤードロジックによるハードウェアとして実現することも可能である。なお、プログラムは、図示しない本記憶媒体に記憶されており、必要に応じてサーバ装置1に機械的に読み取られる。

【0079】さらに、サーバ装置1の分散・統合の具合の形態は図示のものに限らず、その全部または一部を、各種の負荷等に応じた任意の単位で、機能的または物理的に分散・統合して構成することができる。例えば、Web DB14はWebサーバ装置1として独立に構成してもよく、あるいは、会員DB10と送信履歴DB11とを1つのDBとして一体構成してもよい。なお、実際のサーバ装置1の構成機能としては、さらにファイアウォールサーバやDNS(Domain Name System)サーバの機能を付加することができるが、これらについては公知の構成を適用することができるので、その説明を省略する。

【0080】(システム構成-利用者のクライアント装置2)次に、利用者のクライアント装置2の構成について説明する。図1に示すように、クライアント装置2は、概略的には、制御部20、ROM21、RAM22、HD23、入力装置24、出力装置25、入出力制御IF26、および、通信制御IF27を備えて構成されており、これら各部がバスを介してデータ通信可能に接続されている。このクライアント装置2は、たとえば、パーソナルコンピュータやワークステーション、家庭用ゲーム機、インターネットTV、PDA(Personal Digital Assistant)、あるいは、携帯電話やPHS(Personal Handy Phone System)の如き移動体通信端末によって実現することができる。

【0081】このクライアント装置2の制御部20は、Webブラウザ20aを備えて構成されている。このWebブラウザ20aは、基本的には、Webデータを解釈して、後述するモニタ25に表示させる表示制御(ブラウズ処理)を行うものである。

【0082】この制御部20は、その全部または任意の一部を、CPUおよび当該CPUにて解釈実行されるプ

ログラムにて実現することができる。すなわち、ROM21またはHD23には、OS(Operating System)と協働してCPUに命令を与え、各種処理を行うためのコンピュータプログラムが記憶されている。このコンピュータプログラムは、RAM22にロードされることによって実行され、CPUと協働して制御部20を構成する。

【0083】しかしながら、このコンピュータプログラムは、クライアント装置2に対して任意のインターネット3を介して接続されたアプリケーションプログラムサーバに記憶されてもよく、必要に応じてその全部または一部をダウンロードすることも可能である。このあるいは、各制御部20の全部または任意の一部を、ワイヤードロジック等によるハードウェアとして実現することも可能である。

【0084】また、入力装置24としては、キーボード、マウス、および、マイク等を用いることができる。また、後述するモニタ25も、マウスと協働してポインティングディバイス機能を実現する。この入力装置24は、選択情報を用いて、提示する広告データを特定するための入力インターフェースを構成する。

【0085】また、出力装置25としては、モニタ(家庭用テレビを含む)の他、スピーカを用いることができる(なお、必要に応じて、出力装置25をモニタ25として記載する)。この出力装置25は、サーバ装置1から送信された対話データおよび広告データを同時に出力するための出力インターフェース、および、複数の広告データの中から提示する広告データを選択するための選択情報を出力するための出力インターフェースを構成する。これら入力装置24および出力装置25へのデータの入出力は、入出力制御IF26を介して行なわれる。

【0086】また、通信制御IF27は、サーバ装置1から送信された広告データおよび対話データや選択情報を受信し、入力装置24にて特定された広告データに関する情報を、サーバ装置1に送信する通信手段である。

【0087】このように構成されたクライアント装置2は、モデム、TA、ルータ等の通信装置と電話回線を介して、あるいは、専用線を介して、インターネット3に接続されており、所定の通信規約(たとえば、TCP/IPインターネットプロトコル)に従ってサーバ装置1にアクセスすることができる。

【0088】(ネットワーク)なお、これらサーバ装置1とクライアント装置2とを接続するネットワークとしては、上述したインターネット3に限らず、任意のネットワークを利用することができる。例えば、限定されたエリア内でLAN、WANあるいはパソコン通信網を用いて、本システムを構築することができる。また、その他にも、地上波、CATV、CS、BS、あるいは、ISDB(Integrated Services Digital Broadcastin g)を用いて、各種データを送受信することができる。す

なわち、ネットワークには、有線ネットワークのみならず、これら無線・通信ネットワークを含めることができる。

【0089】(本システムにおける処理) 次に、このように構成された本システムを用いて行なわれる処理の詳細について説明する。この処理は、Webページを閲覧するWebページ閲覧処理、チャットで対話を行なうチャット処理、および、メッセージを送信するメッセージ送信処理に大別される。なお、会員DB10には、複数の利用者の利用者ID、パスワード、氏名、および、友達の利用者IDが公知の方法にて予め格納されているものとする。また、広告DB13には、広告主等から供給された選択情報および広告データと、任意の方法で発行された広告IDとが、FTP(File Transfer Protocol)に従った通信やその他の公知の方法にて予め格納されているものとする。

【0090】(Webページ閲覧処理) まず、Webページ閲覧処理について説明する。利用者は、クライアント装置2において所定の方法によりWebブラウザ20aを起動する。このWebブラウザ20aの表示例を図12に示す。この図12に示すように、Webブラウザ20aには、URL入力欄MA-1、メニュー欄MA-2、Webページ表示領域MA-3、ログインボタンMA-4、ログアウトボタンMA-5、チャット開始ボタンMA-6、メッセージ送信ボタンMA-7、ユーザーリストMA-8、および、友達リストMA-9が表示されている。

【0091】そして、利用者が入力装置24を介してログインボタンMA-4を選択すると、Webブラウザ20aは、サーバ装置1に対するダイヤルアップ接続を行なう。この時、利用者には、図示しないログイン用画面による利用者IDおよびパスワードの入力が要求される。ここで入力された利用者IDおよびパスワードはサーバ装置1に送信され、サーバ装置1の認証処理部16cは、これら利用者ID等が会員DB10に格納された利用者IDおよびパスワードに合致するか否かを判断することにより、利用者の認証を行なう。そして、認証OKの場合には、このクライアント装置2をインターネット3に接続する。また、この時、認証処理部16cは、当該利用者のステータス情報を更新する(フラグを「1」にする)。

【0092】その後、利用者は、URL入力欄MA-1に任意のWebページのURLを入力し、所定方法にて送信要求を行なう。すると、Webブラウザ20aは、このURLを通信制御IF27を介して所定の通信規約にて送信し、このURLに基づくルーティングによってサーバ装置1に対するWebデータの送信要求を行う。サーバ装置1の要求解釈部16aは、クライアント装置2からの送信の有無を監視しており、送信を受けると、この送信の内容を解析し、その結果に応じて当該制御部

16内の各部に処理を移す。送信の内容がWebデータの送信要求である場合、閲覧処理部16bは、このURLのアドレス解決を行い、その結果として得られるIPアドレスをWebブラウザ20aに返す。

【0093】そして、Webブラウザ20aは、このIPアドレスを用いて、Webデータが格納されている図示しないWebサーバにアクセスし、このWebサーバからWebデータを取得する。このWebデータはWebブラウザ20aにて解釈され、その結果として、Webブラウザ20aにて表示される(以下、クライアント装置2からサーバ装置1へのWebデータの送信要求と、クライアント装置2へのWebデータの送信、および、クライアント装置2におけるWebページの表示は、ほぼ同様に行われるものとし、以下ではその詳細を省略する)。

【0094】ここで、上記アドレス解決を行なった際、閲覧処理部16bは、このアドレス解決を行なったURLを、この要求を行なった利用者の利用者IDに関連付けて送信履歴DB11に格納する。また、既に利用者IDおよび以前に送信したURLが格納されている場合には、このURLを、直近にアドレス解決を行なったURLに更新する。このことにより、送信履歴DB11には、各利用者のクライアント装置2に最後に送信されたWebページのURLが格納される。

【0095】また、閲覧処理部16bは、このようにWebページの閲覧処理を行なう毎に、利用者に送信したWebページのURLに基づいて送信履歴DB11を参照し、この利用者と同一のWebページを見ている利用者の利用者IDを呼び出す。そして、この利用者IDに基づいて会員DB10を参照し、同一のWebページを見ている利用者の氏名を呼び出す。このように呼び出された氏名は、利用者のクライアント装置2に送信され、ユーザーリストに表示される。したがって、各利用者は、このユーザーリストに表示された他の利用者の氏名を見ることにより、自己と同一のWebページを閲覧している他の利用者の存在等を把握することができる。なお、友達リストには、会員DB10に格納された友達の利用者IDに基づいて取得された、他の利用者の氏名が表示されている。以降、同様にして、利用者は任意のWebページを閲覧することができる。

【0096】(チャット処理) 次に、チャット処理について説明する。この処理のフローチャートを図8に示す。まず、利用者が入力装置24を介してチャット開始ボタンを選択すると、チャット開始要求がサーバ装置1に送信される(ステップSA-1)。この要求は、要求解釈部16aからチャット処理部16dに受け渡され、チャット処理部16dによってチャット処理が開始される。具体的には、チャット処理部16dは、送信履歴DB11を参照して、当該要求を行なった利用者に最後に送信したWebページのURLを呼び出す(ステップS

A-2、SA-3)。そして、このURLに基づいてチャットDB12を参照し、このURLに対応するチャットルームが既に開設されているか否か(ここでは、URLがチャットDB12に格納されているか否か)を判断する(ステップSA-4)。

【0097】(チャット処理-広告データの自動選択)ここで、チャットルームが開設されている場合、チャット処理部16dは、このチャットルームのチャットデータをチャットDB12から呼び出して、クライアント装置2に送信する(ステップSA-7)。一方、チャットルームが開設されていない場合、チャット処理部16dは、このURLを広告選択処理部16fに受け渡す。この広告選択処理部16fは、このURLに基づいて、チャットデータに付加する広告データを自動的に選択する(ステップSA-5)。

【0098】この自動選択のロジックとしては種々のものが考えられるが、ここでは、Webページの内容と、広告データとのマッチングを行うことにより、広告データを選択する。すなわち、まず、URLに対応するWebページを取得し、このWebページに含まれている単語を抽出する。そして、この単語をマッチングキーとして、広告DB13に格納されている広告データに対するマッチングを行ない、マッチング率の一番高い広告データを、チャットデータに付加する広告データとして決定する。この他、自動選択のロジックとしては、例えば、URLと広告データとの対応関係を示す対応テーブルをサーバ装置1に用意しておき、この対応テーブルを参照して広告データを選択してもよい。このように広告データを選択した場合には、利用者が閲覧しているWebページに対応した広告データや、チャットの利用者と共に通する内容の広告データを選択することができ、広告宣伝効果を向上させることができる。

【0099】また、本実施の形態とは異なり、利用者が閲覧しているWebページと、利用者が参加するチャットルームとの間に関連性がないような場合(利用者が任意のテーマでチャットルームを開設することができ、あるいは、任意の開設されたチャットルームを選択して参加することができるような場合)、チャットルームの内容に応じて広告データを選択するようにしてよい。この場合、サーバ装置1のチャット処理部16dは、チャットの開始時には、任意の広告データを選択する。そして、チャットが開始された後に利用者にて書き込まれた対話データ(発言内容)を、逐次、あるいは、広告選択時等の処理のタイミングで抽出し、この対話データをマッチングキーとして、広告DB13に格納されている広告データに対するマッチングを行ない、マッチング率の一番高い広告データを、チャットデータに付加する広告データとして決定する。この場合には、Webページとチャットルームとの間に関連性がない場合であっても、チャットの利用者と共に通する内容の広告データを選択す

ることができる、広告宣伝効果が向上する。

【0100】また、本実施の形態とは異なり、同一のチャットルームにおいて広告データのみを利用者毎に異なるものとすることもでき、この場合には、利用者の属性に応じて広告データを選択するようにしてよい。この場合、サーバ装置1の会員DB10(利用者属性格納手段)には、利用者の属性を特定するための任意の情報、例えば、利用者の住所、年齢、性別、職業、出身地、趣味等を格納しておく。この属性は、利用者が本システムに会員登録を行なう際等に取得することができる。そして、チャット処理部16dは、会員DB10にて格納された属性をマッチングキーとして、広告DB13に格納されている広告データに対するマッチングを行ない、マッチング率の一番高い広告データを、チャットデータに付加する広告データとして決定する。この場合には、チャットの利用者の属性に応じた内容の広告データを選択することができ、広告宣伝効果が向上する。

【0101】この他、当然のことながら、URL、チャットルームの対話データの内容、あるいは、利用者の属性とは、全く関係なく広告データを選択することもできる。例えば、広告DB13に格納された広告データから所定手順(ランダム選択、順次選択、広告料金等に基づく所定の優先順位を考慮した選択等)にて広告データを選択することができる。また、必ずしも单一のロジックではなく、上記広告選択のロジックを複数組み合わせて、広告選択を行なうことも可能である。例えば、利用者が閲覧しているWebページのURLに対応する広告が複数ある場合には、その中から、さらに利用者の属性に応じた広告を選択してもよい。

【0102】(チャット処理-チャットデータの生成、表示等)このように広告データを選択した広告選択処理部16fは、この広告データをチャット処理部16dに受け渡す。そして、チャット処理部16dは、この広告データを含んだチャットデータを生成して(ステップSA-6)、上記チャット開始要求を行なった利用者のクライアント装置2に送信する(ステップSA-7)。なお、このチャットデータの生成は、例えば、CGI(Common Gateway Interface)を用いて動的に行なうことができる(以下、データの生成は同様に行なうことができる)。このように生成されたチャットデータには、所定方法(例えば、ランダム生成、連番等)にてチャットルームIDが付与され、URL、利用者ID、チャットデータ、および、上記選択された広告データの広告IDが、チャットDB12に関連付けて格納される。

【0103】このようにチャットデータをクライアント装置2に送信した後、チャット処理部16dは、チャットDB12における当該チャットデータに対応するタイムスタンプを、このチャットデータが送信された時間を用いて更新する(ステップSA-8)。これにより、チャットDB12のタイムスタンプは、各チャットルーム

に最後に参加した利用者の、参加時間を示すことになる。

【0104】一方、クライアント装置2では、チャットルームがモニタ25に表示される（ステップSA-9、SA-10）。この表示例を図13に示す。この図13に示すように、チャットルームには、チャットルームに参加している利用者のリストMB-1と、対話データの表示領域MB-2と、対話データを入力するための入力欄MB-3と、送信を指示するための送信ボタンMB-4と、広告選択処理部16fにて選択された広告データを表示する広告表示領域MB-5とが設けられている。ここでは、図12に示すように、利用者が「X社」のWebページを閲覧している状態で参加したチャットページを例示しており、図13の広告表示領域MB-5には、X社の広告データ「X社より、パソコン新機種が発売されます！！」が表示されている。

【0105】その後、従来のチャットシステムと同様に、チャットが行なわれる。すなわち、利用者が入力装置24を介して対話データを入力欄MB-3に入力し、送信ボタンMB-4を選択すると、この対話データがサーバ装置1に送信される。チャット処理部16dは、クライアント装置2から対話データが送信されると、このデータを用いてチャットDB12のチャットデータを更新する。

【0106】各クライアント装置2に表示されているチャットページの更新は、例えば、チャットページを構成するHTML中に記述されたMETAタグのRefresh機能を使って、一定間隔で同ページを読み直すようにすることによって自動的に行われる。以降、このようにして、対話データはチャットページにはほぼリアルタイムで反映され、利用者は仮想的な対話を行なうことができる。以降、チャットルームへの参加が終了するまで、同様の処理が行なわれる。

【0107】（チャット処理-広告データの自動更新）ここで、チャットルームでの対話が行なわれている間、所定条件が満たされた場合には、広告データが更新される。この更新処理のフローチャートを図9に示す。この図9に示すように、サーバ装置1のチャット処理部16dは、各チャットルームにおける広告の提示時間（表示時間）が、所定時間（例えば、1分）以上になったか否かを監視している（ステップSB-1）。具体的には、チャット処理部16dは、所定間隔で、チャットDB12に格納されている各チャットルームのタイムスタンプを参照し、このタイムスタンプが、その時点の現在時刻を基準として、上記所定時間以上前の時間であるか否かを判断する。

【0108】そして、広告の提示時間が所定時間以上になったチャットルームがある場合には、広告選択処理部16fに他の広告データを選択させ（ステップSB-2）、この広告データがチャットルームの広告表示領域

にて表示されるように、チャットデータを更新する（ステップSB-3）。ここで、広告選択処理部16fによる選択は、例えば、上記URLに対応するWebページに含まれている単語と、広告DB13に格納されている広告データとのマッチングにおいて、マッチング率が二番目に高い広告データを自動選択することにより行なうことができる。これにて広告データの更新処理が終了する。このように更新されたチャットデータは、上記のように各クライアント装置2においてチャットページが更新された際に読み込まれ、この結果として、チャットルームの広告表示領域に新しい広告データが表示される。

【0109】このように広告データを自動的に更新することにより、各利用者に順次新しい広告を提示することができ、広告宣伝効果を一層高めることができる。特に、上記の場合には、チャットルームに参加している各利用者が一定時間以上、連続して同じ広告データを見た場合に広告データが更新されるので、各広告を充分に利用者に見せた状態で次の広告を提示することができ、広告更新を効率よく行なうことができる。

【0110】（メッセージ送信処理）次に、メッセージ送信処理について説明する。この処理のフローチャートを図10、11に示す。まず、図12のWebブラウザ20aにおいて、利用者Aが、メッセージ送信の相手方を特定して、メッセージ送信ボタンMA-7を入力装置24を介して選択すると、Webブラウザ20aは、メッセージ送信要求をサーバ装置1に対して送信する（ステップSC-1）。ここで、メッセージ送信の相手方の特定方法は任意であるが、ここでは、ユーザーリストや友達リストに表示されている他の利用者を入力装置24にて選択することによって行なうことができる。

【0111】このメッセージ送信要求は、要求解釈部16aからメッセージ処理部16eに受け渡される。このメッセージ処理部16eは、広告DB13から選択情報を呼び出し（ステップSC-2、SC-3）、この選択情報を含むメッセージ作成画面のWebデータを生成して、当該要求を行なった利用者のクライアント装置2に送信する（ステップSC-4）。このWebデータは、クライアント装置2のWebブラウザ20aにて解釈され、モニタ25に表示される（ステップSC-5、SC-6）。このメッセージ作成画面の表示例を図14に示す。この画面は、図14に示すように、対話データ（メッセージ内容）を入力するための入力欄MC-1と、広告を選択するための広告選択領域MC-2と、メッセージの送信を指示するためのメッセージ送信ボタンMC-3とを含んで構成されている。

【0112】ここで、広告選択領域MC-2には、上記広告DB13から呼び出された選択情報MC-4がリスト表示されており、利用者Aは、この選択情報のうち、メッセージ送信の相手方に送りたい広告に対応する選択情報を入力装置24を介して選択する。この選択情報M

C-4は、上述のように、サムネイルや各種のテキスト情報を表示することができる。また、この表示形態は任意であり、ドロップダウンリスト形式等、利用者が選択しやすい形式を用いることができる。なお、この選択情報MC-4の選択タイミングは、本実施形態のタイミング以外にも、例えば、メッセージ送信要求を行なう前に予め選択してもらってもよく、例えば、各友達に適した広告の内容や、各友達の趣味等を予め利用者に登録してもらい、その内容に基づいて広告データを選択してもよい。

【0113】その後、利用者Aが、入力欄MC-1に対話内容を入力し、選択情報MC-4をクリック等することによって広告データを選択し、メッセージ送信ボタンMC-3を選択すると、これら選択情報や対話データがサーバ装置1に送信される（ステップSC-7）。これらの情報は、要求解釈部16aからメッセージ処理部16eに受け渡され、メッセージ処理部16eは、利用者Aから送信された選択情報に対応する広告データを広告DB13から呼び出し（ステップSC-8、SC-9）、この広告データと、利用者Aから送信された対話データとを含むメッセージ送信画面のWebデータを動的に生成して、このWebデータを、先に利用者Aにて選択された他の利用者Bのクライアント装置2に送信する（ステップSC-10）。この結果、広告データを含んでメッセージ送信画面が、利用者Bのクライアント装置2のモニタ25に表示される（ステップSC-11、SC-12）。

【0114】このメッセージ送信画面の表示例を図15に示す。この画面は、図15に示すように、対話データの送信者やその送信日時を表示する表示領域MD-1と、対話データの内容を表示するメッセージ出力欄MD-2と、メニュー欄MD-3と、広告表示領域MD-4とを含んで構成されている。そして、この広告表示領域MD-4には、先のメッセージ入力用画面において選択された選択情報に対応する広告データが表示されている。ここでは、図14のメッセージ作成画面において、「Y社-化粧品」が選択された場合を想定しており、図15のメッセージ送信画面において、広告表示領域MD-4には、「Y社の化粧品に関する広告「Y社化粧品 キャンペーン開催中！！」が表示されている。

【0115】その後、利用者Bは、広告データの内容を一層詳細に知りたい場合には、この広告表示領域MD-4を入力装置24にて選択する。この広告表示領域MD-4には、この広告データの詳細内容を示すホームページ等へのリンクが貼られており、この広告表示領域MD-4が選択されると、Webブラウザ20aは、このリンク先のWebページのWebデータの送信要求を行なう（ステップSC-13）。この要求は要求解釈部16aから閲覧処理部16bに受け渡され、この閲覧処理部16bにてアドレス解決が行なわれることによって、こ

のWebデータがクライアント装置2に送信され（ステップSC-14、SC-15）、リンク先のWebページがモニタ25に表示される（ステップSC-16、SC-17）。

【0116】（メッセージ送信処理-利益処理）このように、広告表示領域が利用者によって選択された際、その旨が閲覧処理部16bから利益処理部16gに受け渡され、この利益処理部16gによって、利益処理が行なわれる。具体的には、利益処理部16gは、メッセージ送信を行なった利用者と、広告表示領域を選択した利用者との、それぞれの利益情報を会員DB10から呼び出し、この利益情報を所定ポイント（例えば、1ポイント）を加算することにより、この利益情報を更新する（ステップSC-18）。これにてメッセージ送信処理が終了する。

【0117】（取得したVMの使用について）その後、各利用者は、自己の取得したVMを任意のタイミングで使用することができる。このような仮想的な貨幣をネットワーク上で使用するための方法としては、既に各種の方法が提案されており、実用化もされているため、ここではその具体的な内容の説明を省略する。

【0118】例えば、利用者は、本システムと提携している電子商取引サイトにおいて、商品の購入代金の支払い方法としてVMを利用する旨を指定し、自己のユーザIDとパスワードを入力する。すると、この情報に基づいて本システムに対する決済認証の問い合わせがあり、本システムでは、ユーザIDおよびパスワードを用いて利用者の認証を行うと共に、利用者が使用しようとしているVMが会員DB10に格納されているか否かを判断する。そして、認証可の場合であって、VMが会員DB10に格納されている場合には、決済可の旨を電子商取引サイトに送信すると共に、使用した分のVMを会員DB10に格納されているVMから差し引いて、残高更新を行う。

【0119】この他、提供する利益が現金である場合には、この現金を利用者の指定口座に自動的に振り込んだり、提供する利益が商品券である場合には、この商品券を利用者の住所に自動発送することができる。もちろん、会員DB10の内容をオペレータが判断し、このオペレータが手動的に現金の振込みや商品券の発送を行ってよい。

【0120】さて、これまで本発明の実施の形態について説明したが、本発明は、上述した実施の形態以外にも、上記特許請求の範囲に記載した技術的思想の範囲内において種々の異なる実施の形態にて実施されてよいものである。

【0121】例えば、上記の実施の形態においては、広告データを単にモニタ25に静止画像として表示しているが、動画像や音声にて出力することもでき、また、アニメーション効果や点滅表示等、公知のあらゆる出力形

態を用いることができる。また、メッセージ送信時にのみ利用者が広告内容を選択するものとして説明したが、チャットの開設者等がチャット開設時等に任意の広告内容を選択できるようにしてもよい。この選択は、上記メッセージ送信の場合と、同様の手順にて行なうことができる。また、逆に、メッセージ送信に、チャット時と同様の手順にて広告データを自動選択してもよい。

【0122】また、上記実施の形態においては、図12に示したWebブラウザを用いてコミュニケーションを行なう例を示しているが、広く普及しているWebブラウザ(Internet Explorer, Netscape Navigator)等を用いたチャットやメッセージ送信においても、同様の手順により、広告表示を行なうことができる。また、上記実施の形態においては、広告表示領域が選択された場合に一律的に利益を与えるようにしているが、広告の内容や広告表示領域の選択タイミング等に応じて、与える利益の内容や量を変化させ、ゲーム性を持たせてもよい。また、上記実施の形態においては、チャットやメッセージ送信において広告を1つのみ表示しているが、複数の広告を表示してもよい。

【0123】また、実施形態において説明した各処理のうち、自動的に行なわれるものとして説明した処理の全部または一部を手動的に行なうこともでき、あるいは、手動的に行なわれるものとして説明した処理の全部または一部を公知の方法で自動的に行なうともできる。この他、上記文書中や図面中で示した処理手順、制御手順、具体的な名称、各種の登録データや検索条件等のパラメータを含む情報については、特記する場合を除いて任意に変更することができる。

【0124】また、「コンピュータ読み取り可能な記憶媒体」とは、フロッピー(登録商標)ディスク、光磁気ディスク、ROM、EPROM、EEPROM、CD-ROM、DVD等の任意の「可搬用の物理媒体」や、各種コンピュータシステムに内蔵されるROM、RAM、HD等の任意の「固定用の物理媒体」、あるいは、LAN、WAN、インターネット3に代表されるネットワークを介してプログラムを送信する場合の通信回線や搬送波のように、短期にプログラムを保持する「通信媒体」を含むものとする。

【0125】また、「プログラム」とは、任意の言語や記述方法にて記述されたデータ処理方法であり、ソースコードやバイナリコード等の形式を問わない。なお、「プログラム」は必ずしも単一的に構成されるものに限られず、複数のモジュールやライブラリとして分散構成されるものや、OS(Operating System)に代表される別個のプログラムと協働してその機能を達成するものも含む。なお、実施の形態に示した各装置において記憶媒体を読み取るための具体的な構成、読み取り手順、あるいは、読み取り後のインストール手順等については、周知の構成や手順を用いることができる。

【0126】

【発明の効果】以上に説明したように、請求項1、3、15、または、25に記載の本発明によれば、情報端末装置において、広告データが、対話データと共に利用者に出力され、利用者に対する広告を行なうことができる。このことにより、対話環境といふこれまで広告スペースとして着目されていなかった領域に、新たな広告スペースを創設することができる。この場合、利用者による注視度が極めて高い対話データと共に広告データが表示されるので、広告宣伝効果が極めて大きい。

【0127】また、請求項2、4、16、または、25に記載の本発明によれば、チャットの場合には、チャット相手の発言を待つ間に広告を見なうことや、チャットの中で広告について話題にしてもらうことによって、大きな広告宣伝効果を期待することができる。また、メッセージ送信の場合には、メッセージと共に広告を能動的に送信してもらうことができ、大きな広告宣伝効果を期待することができる。

【0128】また、請求項5、17、または、25に記載の本発明によれば、複数の広告データの中から、利用者に提示する広告データが選択され、利用者に提示される。したがって、この選択を適切に行なうことにより、利用者に適した広告を自動的に選択して提示することができる。

【0129】また、請求項6、18、または、25に記載の本発明によれば、利用者へのWebページの送信履歴が自動的に蓄積され、この送信履歴に基づいて広告が選択されるので、利用者が閲覧しているメーカーや商品等に関する広告や、逆にこれらのメーカーや商品等とは全く異なるメーカーや商品等に関する広告を提示する等、閲覧内容に基づいた広告を提示することができ、広告宣伝効果を一層向上させることができる。

【0130】また、請求項7、19、または、25に記載の本発明によれば、対話データの内容に基づいて広告データが選択されるので、利用者が対話しているメーカーや商品等に関する広告や、逆にこれらのメーカーや商品等とは全く異なるメーカーや商品等に関する広告を提示する等、対話内容に基づいた広告を提示することができ、広告宣伝効果を一層向上させることができる。

【0131】また、請求項8、20、または、25に記載の本発明によれば、利用者の属性に関する情報が格納され、この情報に基づいて広告が選択されるので、利用者の性別や趣味等に対応するメーカーや商品等に関する広告や、逆にこれらのメーカーや商品等とは全く異なるメーカーや商品等に関する広告を提示する等、利用者の属性に基づいた広告を提示することができ、広告宣伝効果を一層向上させることができる。

【0132】また、請求項9、21、または、25に記載の本発明によれば、広告データが自動的に切り替えられるので、利用者に対して異なる広告を自動的に提示す

ることができ、広告効率を向上させることができる。
【0133】また、請求項10、22、または、25に記載の本発明によれば、チャットルームに参加している利用者への広告データの提示時間が所定時間以上になった場合に、広告データの切り替えが行なわれる所以、各広告を充分に利用者に見せた状態で次の広告を提示することができ、広告更新を効率よく行なうことができる。

【0134】また、請求項11、23、または、25に記載の本発明によれば、利用者は、選択情報を用いて広告データを選択することができ、このように選択された広告データが利用者に提示される。したがって、チャットやメッセージ送信において、利用者は対話相手に合致した広告を任意に選択すること等ができる、広告宣伝効果を一層向上させることができる。

【0135】また、請求項12、24、または、25に記載の本発明によれば、広告データに対する所定の操作が行なわれた場合、この操作を行なった利用者と、この広告データを当該利用者に提示することを選択した利用者と、の少なくとも一方に対して提供する利益の内容が格納される。すなわち、例えば、広告データを選択してその詳細な内容を閲覧等した場合には、これら利用者の少なくとも一方に対して、所定の利益が与えられる。したがって、広告を見る利用者や、この広告を送信する利用者に、広告効果を向上させることについてのインセンティブを付与することができ、広告宣伝効果を一層向上させることができる。

【0136】また、請求項13に記載の本発明によれば、コミュニケーション情報処理装置から送信された対話データおよび広告データを、出力インターフェースを介して同時に出力することができる。したがって、広告データが、対話データと共に利用者に出力され、利用者に対する広告を行なうことができる。特に、このような対話データは、利用者による注視度が極めて高いことから、広告宣伝効果が極めて大きい。

【0137】また、請求項14に記載の本発明によれば、出力インターフェースを介して選択情報が出力され、入力インターフェースを介して、選択情報を用いた広告データの特定が行なわれる。したがって、利用者は、広告データを容易に選択することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施の形態におけるコミュニケーションシステムの全体構成を示すブロック図である。

【図2】サーバ装置の構成を示すブロック図である。

【図3】クライアント装置の構成を示すブロック図である。

【図4】会員DBに格納される情報の構成例を示す図で

ある。

【図5】送信履歴DBに格納される情報の構成例を示す図である。

【図6】チャットDBに格納される情報の構成例を示す図である。

【図7】広告DBに格納される情報の構成例を示す図である。

【図8】チャット処理のフローチャートである。

【図9】広告更新処理のフローチャートである。

【図10】メッセージ送信処理のフローチャートである。

【図11】メッセージ送信処理のフローチャートである。

【図12】Webブラウザの表示例を示す図である。

【図13】チャットルームの表示例を示す図である。

【図14】メッセージ作成画面の表示例を示す図である。

【図15】メッセージ送信画面の表示例を示す図である。

【符号の説明】

1 サーバ装置

10 会員データベース

11 送信履歴データベース

12 チャットデータベース

13 広告データベース

14 Webデータベース

15 通信制御インターフェース

16 制御部

16 a 要求解釈部

16 b 閲覧処理部

16 c 認証処理部

16 d チャット処理部

16 e メッセージ処理部

16 f 広告選択処理部

16 g 利益処理部

2 クライアント装置

20 制御部

20 a Webブラウザ

21 ROM

22 RAM

23 HD

24 入力装置

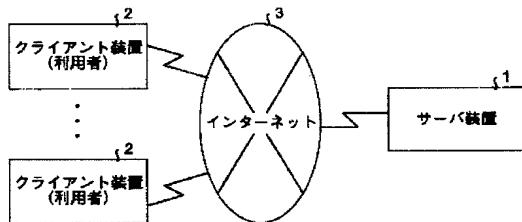
25 出力装置

26 入出力制御インターフェース

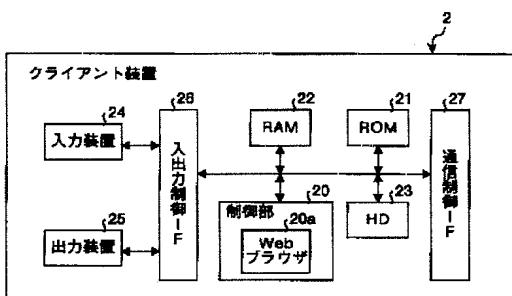
27 通信制御インターフェース

3 インターネット

【図1】

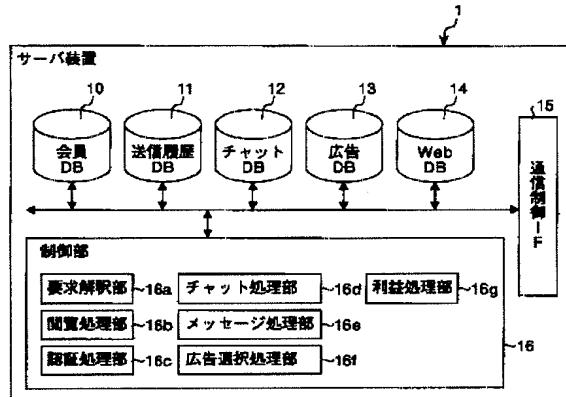


【図3】



【図5】

【図2】



【図4】

[会員DB]					
利用者ID	パスワード	氏名	友達の利用者ID	ステータス情報	利益情報
UID0001	YY16F	田中～	UID0037, UID2598	1	5
UID0002	BB88H	田中～	UID0083, UID0587	0	1

【図6】

【図7】

利用者ID	URL
UID0315	http://www.A.～
UID0298	http://www.B.～

[チャットDB]

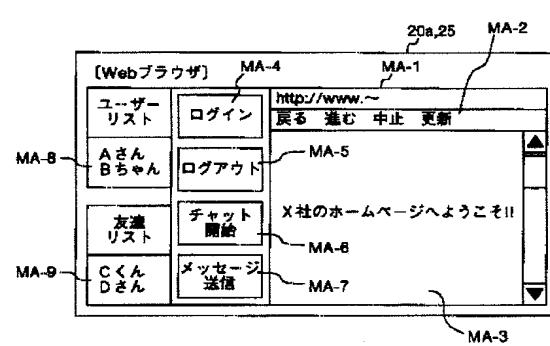
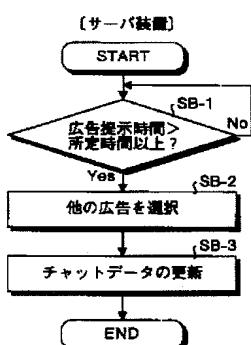
チャットルームID	URL	利用者ID	チャットデータ	広告ID	タイムスタンプ
CID0001	http://www.C.～	UID0007, UID0026	~~~~~	KID0005	20:21
CID0002	http://www.D.～	UID0032, UID0144, UID0130	~~~~~	KID0021	20:23

[広告DB]

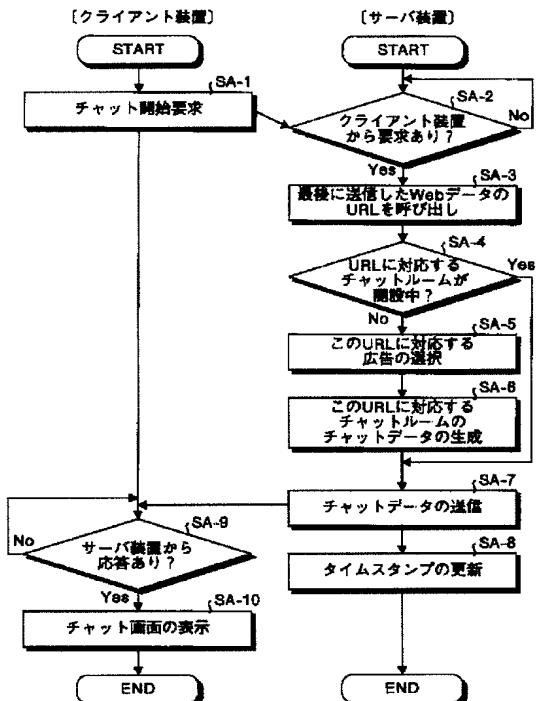
広告ID	選択情報	広告データ
KID0001	X社 パソコン	~~~~~
KID0002	Y社 化粧品	~~~~~

【図9】

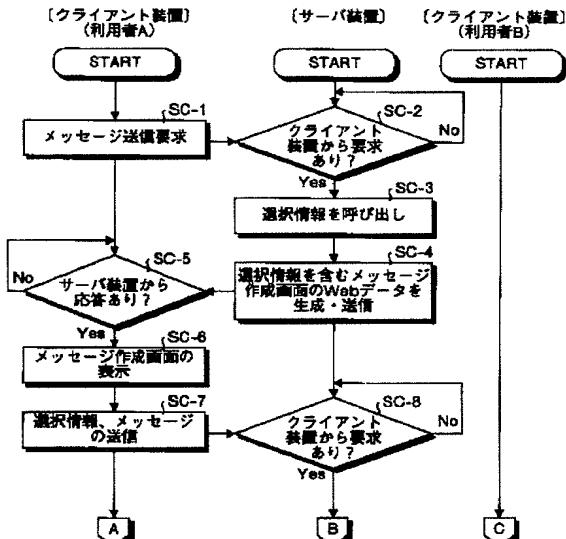
【図12】



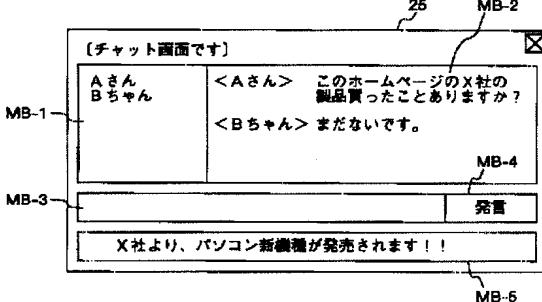
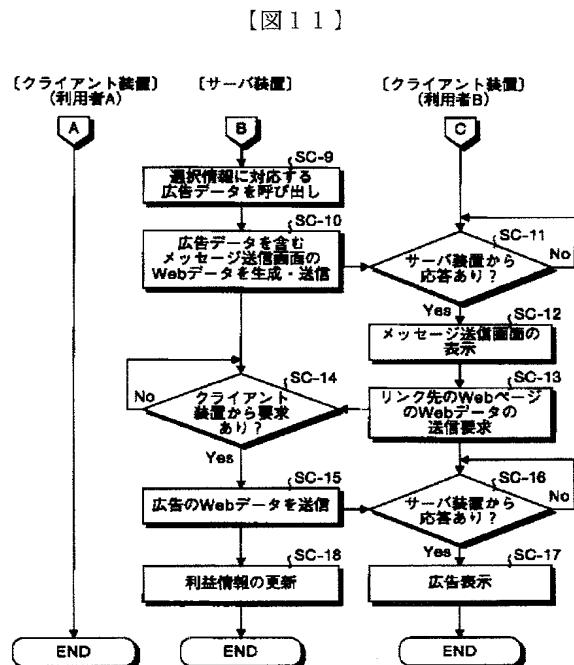
【図8】



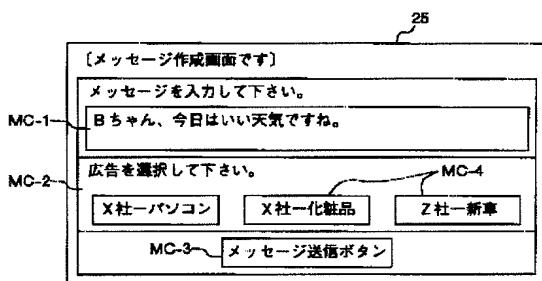
【図10】



【図13】



【図14】



【図15】

25

【メッセージ送信画面です】	
送信者	送信日時
MD-1 Aさん	2000年10月1日 16:35
MD-2 Bちゃん、今日はいい天気ですね。	
MD-3 削除 新規 返信 更新	
MD-4 Y社 化粧品 キャンペーン開催中!!	